

有田市の水道水は  
どこからきているの？



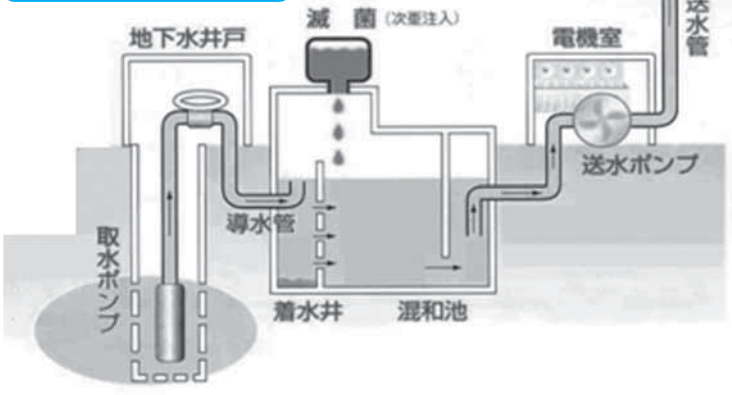
有田川の水？ いいえ、地下水なんです

みなさんのご家庭の蛇口をひねれば、当たり前のように透き通った水が出てきます。その水はどこからやってくるのかご存知ですか？  
有田川の水？  
いいえ、地下から水をくみあげているんです。  
一般的に水道水は、ダムにためた水、川の水、地下水などからひかれていますが、有田市の地下水はともキレイと言われています。  
それは、最低限の滅菌で、安全な飲み水になるからです。  
自然界の水が、おいしく飲める水になつて皆さんのご家庭に届くまで、どんなルートをたどっているのでしょうか？  
人が生きるために、欠かすことのできない「水」。  
あらためて、その大切さを考えていきましょう。

暮らして水

毎日のくらしのなかで、水道の水を使わない日はありませんよね。朝起きて、顔を洗って歯を磨いて。そして、洗濯やお風呂、トイレなど私たちは常に水を使っています。家以外でも、工場や学校など水を使うところはたくさんあります。  
蛇口から出てくる水道水。有田市は地下からくみあげていますが、どうやってきれいで安心して使える水にするのでしょうか。

浄水場のしくみ



地下水を安全な水に

くみ上げられた地下水は、浄水場という水の工場で、細かい砂を沈殿させ、薬品(次亜塩素酸ナトリウム)を使って、滅菌(消毒)します。有田市の、地下水は不純物が少ないので、たくさん薬品を使うことなく、次亜塩素酸ナトリウムのみの滅菌で安全な水道水になります。

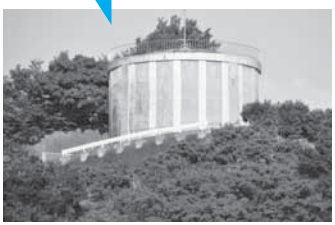


下中島浄水場

みなさんのもとへ

浄水場で安心して飲めるようになった水は、配水池というプールにたくわえられ、道路の下にあみの目のようにはりめぐらされた配水管を通じて、皆さんの家や学校などの蛇口まで送られます。

山の上に見えているのを見たことあるかな？



下中島第1配水池

安全確認も万全！

滅菌する前の地下水が安全かどうか各浄水場で鯉を飼育し、鯉に異常がないかどうか確認しています。  
また、地下水・水道水ともに、国が定めた水質項目を満たしているかどうか定期的に分析し、チェックしています。

かけがえのない資源

私たちの住む地球の表面は、約70%が水におおわれています。「水の星」とよばれています。ひとくちに「水」といっても、海、氷山、湖、川、地下水、雨、水蒸気などさまざまな姿をしています。  
その水の約97・5%は海水で、淡水(真水)は残りの約2・5%です。この淡水も、ほとんどは南極や北極にある氷や雪で、私たちがわけあって使える水は、地球にある水のうち、わずか0・01%といわれています。  
地球にある水の量をお風呂一杯分(およそ200ℓ)だとすると、私たちが使える量は、スプーン一杯分(およそ200ℓ)になります。水はとても貴重で限りあるものなのです。

水を大切に使う水道教室

有田市では、定期的に市内の小学生を対象に「水道教室」を開き、有田市の水道の仕組みや水の大切さを伝えています。  
5月18日(月)は、保田小学校の4年生の皆さんが下中島浄水場の見学に来てくれました。



送水ポンプを見学

水道教室の感想

有田市の水道の水が地下水だと知らなかったです。使わないときは蛇口をきっちり閉めて、水を大切に使うのはいいかなと思えました。

保田小学校4年 佐原花音さん

有田市では、この良質な水道水を活用したボトルウォーターの名称を募集しています。詳しくは12ページをご覧ください。